

部屋探し サイト選びから

新着物件メール ■ 周辺施設検索

春は大学入学や就職、転勤などで引っ越しする人が多いシーズンだ。新しい街で不動産屋を探さずともいいが、今や部屋探し的主流はインターネット。一見、似たような部屋探しサイトにも、いろいろと独自のウリがある。また、そんな特徴もよく使って、あなたにピッタリの物件を見つけてはどうか。(経済部 武井将也)

口コミも

ネット上で部屋探しをする場合、たいがいには住みたい路線や駅名の入力に始まり、家賃や面

取りなどの希望条件を入れると、該当する物件が表示される。各サイトとも、こうした基本的な検索機能に大差はないが、掲載している物件数や「便利機能」で特色を出しており、ほかと違う点を醍醐味の上で、自分に合ったサイトを選ぶことが希望する物件への近道になりそうだ。

※ 初めての住む街の相場は、主として、圧倒的な掲載物件数を誇る「Zillow」(ホームズ)だ。全米の約3000万の賃貸アパートやマンションの情報を載せている。最近、検索した条件や物件を自動表示したり、条件に合った新着物件が出るよう、メールで知らせてくれた



全国で約341万件の物件情報を載せているホームズのサイト

りするなどの基本機能も充実している。

「家賃相場」のコーナーでは、掲載している物件から算出した、駅や街ごとの平均家賃を表示している。初めて住む街の相場が分かり、目撃録しをする人には参考になる。

※ 部屋の写真、間取りも物件ごとの情報欄に力を入れているのは「S H H M O (スーモ)」。一つの部屋の写真や間取りなどの情報を、最大20まで掲載できるようにしており、過半数の物件で7つ以上掲載している。仕事で忙しいなど、なかなか物件を見て回れない人にはお薦めだ。

名所や商店街紹介

通学する学校や、かかりつけの病院の近くに住みたい、という人にお薦めなのが、「ホームズ」の「生活施設検索」だ。

隣町や駅からの検索ではなく、学校や会社、病院などの施設名を選択すると、その周辺にある物件を探してくれる。「ショッピングセンター」や「スポーツ施設」の近くにあったらいい

また、「隣町リサーチ」や「住みたい街ランキング」では、路線の特徴や実際に住んでいる人のコメントなども紹介している。

※ 初期費用が分かる「初期費用を〇万円以内」に抑えたい」という人には、「アパマンショップ」のサイトが便利だ。

敷金や礼金、前家賃が最初の月に、すぐにかかる費用が「5万円まで」「10万円まで」「敷金・礼金がダブルゼロ」といった条件から検索できる。4年間住んだ場合の1か月当たりの「めやす賃料」も表示している。これには更新料なども含まれている。

な」など物件の立地環境を重視する人には役立つだろう。

物件だけでなく、住みたい街のことを詳しく知りたいという人には、「at home (アットホーム)」のサイトにある「首都圏タウンインフォメーション」が便利だ。主なターミナル駅までの所要時間や、駅前にある商店街の店などを写真付きで紹介している。

街の名所や雰囲気なども記してあり、どの駅に住もうか迷っている人は参考になる。